

Topics ■トピックス [学内情報]

来春、新学部開設 政策創造学部、理工学系3学部 千里山キャンパスに 誕生

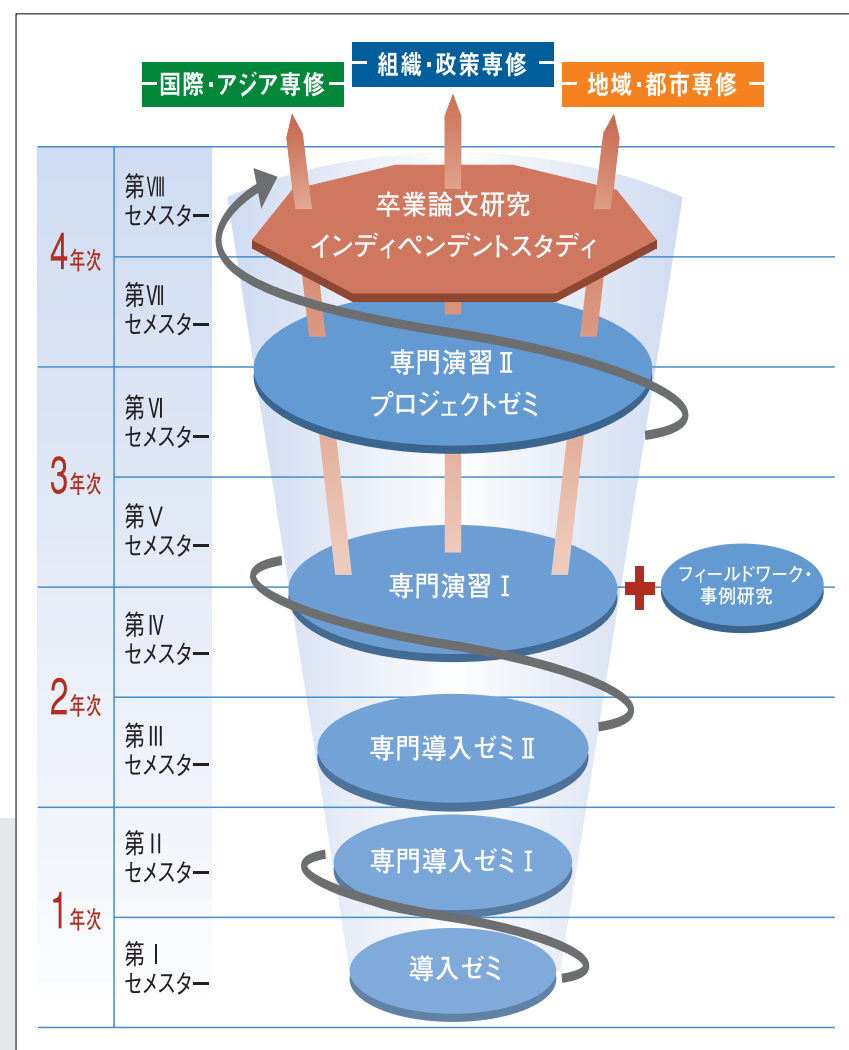
政策創造学部 (文部科学省への届出手続中)

実践的な政策立案力を養う—

2007(平成19)年4月、関西大学は新たに「政策創造学部」を開設します。3つの専修を設け、「実践的な政策立案力を養い、豊かな地球市民社会への扉をひらく」を学部コンセプトとし、真の実践的政策立案力を身につけた人材を育成します。

●政策創造学部では、次のような特徴的な教育方法により、即戦力となる「政策のプロ」を育成します。

- 1 少人数・双方向授業形態である演習(ゼミ)を重視した教育。入学から卒業まで本学専任教員が継続的に指導するスパイラルアップ型ゼミナール教育体系です。また、フィールドワークや事例研究を重視します。
- 2 産学官が連携したカリキュラムとして、行政及び企業の実務家を招いての講義や、近隣地方公共団体の長を招いた講義等も多数開講します。
- 3 基礎スキルとして「データ分析科目」を設け、情報リテラシー教育を重視します。
- 4 ステップアップ方式による英語16単位の修得など、外国語教育を重視します。
- 5 SF入試入学生を対象に、全学共通の授業科目であるインターファカルティ教育科目を最大40単位まで卒業所要単位に含めることで、高次元での文武両道を実現します。
- 6 キャリア教育科目を卒業所要単位に含め、1年次から「キャリアデザイン」科目を履修することで、早期に自己の将来設計を行うための指針を示しています。
- 7 GPA制度を導入することで、各学生の科目に対する習熟度を測り、効率的な知識の習得を確実にします。また、専任教員がアカデミック・アドバイザーとしての役割を果たすことで、きめ細かい指導がなされます。



◆3つの専修、教員スタッフが充実

本学部は「国際・アジア」「組織・政策」「地域・都市」の3つの専修を設けて、政策を決定・実施できる人材を育成します。教員スタッフは、政策創造学部学部長

予定者の孝忠延夫教授をはじめ、当初21人の専任教員の就任が決定しています。政策系、経済学系、アジア法学系各学会トップ経験者や、国際機関の第一線で実務経験がある外国人教員も含まれています。

システム理工学部 環境都市工学部 化学生命工学部

新たな先端研究に挑み、高い創造性を培う—

工学のほぼ全領域をカバーする11学科を擁する学部へと発展を遂げた関西大学工学部が、来年4月、さらに大きく生まれ変わります。ダイナミックな再編により、3学部9学科20コースの多彩な理工学領域を実現します。

●新設する理工系3学部は、時代の変化に即応可能な柔軟性に富んだ教育を実践し、現代科学技術社会が求める有能な人材を養成するため、次のような特徴ある教育を行います。

関西大学 新生 理工学系の3学部

1学部11学科から3学部9学科20コースへと革新。充実した教育体制を基礎とし、専門的な知識・技術を蓄積していく体系的な教育プログラムで、優れた研究者・技術者を養成します。



◆3学部9学科20コースの多彩な理工学領域

3学部はそれぞれ、「しくみづくり」「まちづくり」「ものづくり」という「つくる」というコンセプトで、学ぶ内容をと

らえることができます。「しくみづくり」を学ぶ「システム理工学部」は、現代社会に必要なハード、ソフトウェアといった科学技術システムにおける高度で安全性の高い「しくみ」「しかけ」について研究し、工学の基礎

1 コース制を導入し、より専門的な教育プログラムを採用します。入学時に大きな領域から自分の興味を選択。下位年次は基礎を固め、自分に適した学びの領域を探ります。上位年次ではコースに分かれ、より探究したい分野を選択し、専門性・実践力を身につけます。

2 科学技術の発展に貢献するためには、自然科学の基幹的学問である数学、物理学といった理学的知識を身につけることが重要です。そこで新たに理学系の学科を開設します。

3 環境破壊、人口増加などますます深刻化・複雑化する課題の解決を目指して、環境、生命系の学問領域を拡充します。

知識と、理工学的専門知識を持った技術者の育成を目指します。

「まちづくり」を学ぶ「環境都市工学部」は、環境と人に配慮した安全かつ快適な都市空間や社会構築について研究し、問題解決能力や科学技術の知識と実践力を身につけた人材を育成します。

「ものづくり」を学ぶ「化学生命工学部」は、新素材や新エネルギーなど、未来が求めるものづくりを研究します。最先端の専門知識・技術を養い、さまざまな問題の解決に貢献できるスペシャリストを育成します。